

1 活動 「子どもまつりをしよう」

2 最近の幼児の姿（10月～）

<興味、関心、遊び、友達とのかかわり>

- 運動会への取り組みを通して、クラス全員で一緒にする、力を合わせる、息を合わせるなどクラス全員、園児全員で活動していることを意識するような言葉かけをして、活動を行ってきた。

運動会終了後、今まであまりかかわりのなかった友達や年中児とかかわる機会が増えている。友達とは、新しい遊びに取り組んだり、友達の得意なことを見つけて、教えてもらおうとしたりするなど遊びや友達関係の広がりが見られる。また、今までより一層、年中児を意識したり、親しみを感じたりする気持ちが高まり、遊戯を教え合い、踊ったり、エンドレスリレーを一緒に行ったりする姿が見られる。

- 園庭にある色づき始めた落ち葉や草の実などと園外保育で行った小学校で拾ったマツボックリや小枝、遠足や近所の公園で拾ってきたドングリなどを遊びに取り入れている。そのものを遊びに使うこと、それらを使って遊びに必要なものをつくることに興味を示し、積極的に取り組んでいる。同じ素材に興味をもったり、同じ遊びをしたりする友達とグループを作って、年中児を遊びに招待する「子どもまつり」を開く準備を進めている。

3 期のねらいと内容（9期 5歳児 11～12月）

発達の過程 友達と一緒に遊びを進め、目的に向かってやり遂げるようになる時期

- （健康） ○ 寒さに向かう中で、健康な生活の習慣を身につける。
 - ・ うがい・手洗い・衣服の調整を自分からしようとし、病気の予防を意識する。
- （人間関係） ○ 学級やグループの目標に向かって、友達と役割を分担したり協力したりしながら、活動に取り組む充実感を味わう。
 - ・ 友達と共通の課題に向かって協力して取り組み、達成する意欲をもつ。
- （環境） ○ 身近な自然や社会現象に関心を持ち、遊びの中に取り入れる。
 - ・ 収穫の喜びを味わったり、生活の変化に気づいたりして自然に親しむ。
 - ・ 自然物を使って、工夫したり試したりしながら遊ぶ。
- （言語） ○ 絵本や長編物語に親しみ、イメージを豊かにする。
 - ・ 思ったり感じたりしたことを発言したり、自分の役になりきって言葉で表現したりすることを楽しむ。
- （表現） ○ 経験したり考えたりしたことを、友達と一緒に表現して楽しむ。
 - ・ 友達と役割を分担したり協力したりしながら表現することを楽しむ。

<p>週のねらい</p>	<p>○ 互いのイメージや考えを出し合い、友達と一緒に進めていこうという気持ちをもって取り組む。 ○ 年中児の喜ぶお店やおみやげを作ったり、わかりやすい遊び方を考えたりしながら子どもまつりを楽しみにする。 ○ 秋の自然に触れ、実や葉を集めたり、それらを使って遊んだりすることを楽しむ。</p>		<p>生活のねらい</p>	<p>○ 手洗い、うがいの仕方を確認し、丁寧にする。 ○ 上着の着脱やその始末について知る。</p>		<p>日(月)…入園願書配布 (～ 日) 日(火)…園外保育 (○○○中央公園)</p>
<p>内容</p>	<p>・ 友達と相談や協力をしながら、子どもまつりのゲームやお店、おみやげの準備をする。 ・ 楽しいところを伝えたり、分からないところを尋ねたりしながら、友達同士で試してみる。 ・ 木の実や木の葉を使って、遊ぶものを作ったり、おみやげの材料にしたりする。</p>		<p>内容</p>	<p>○ きちんとどの奥まで水を届かせてうがいをする。 ○ 室内では、上着を脱ぎ、きちんとフックに掛ける。</p>		<p>次週の予定</p>
<p>物的環境及び援助の要点</p>	<p>○ 自分の考えを伝えたり、友達の考えを認めたり、取り入れたりしている言動を認める。 ○ 年長児の意欲が高まるように年中児を思いやれるよう助言したり、気持ちが表れた言葉を取り上げたりする。 ○ 今まで使ったことのある素材と新しい素材を組み合わせて使ったり、新たな使い方を見つけていたりしながら、製作や遊びができるよう準備する。</p>		<p>物的環境及び援助の要点</p>	<p>○ 天井の「ガラガラちゃん」や「ガラガラ」という音を意識するよう言葉をかける。 ○ フックにかけやすいよう紐をつけてもらっているか確認する。</p>		
<p>日(曜)</p>	<p>日(月) 天気</p>	<p>日(火) 天気</p>	<p>日(水) 天気</p>	<p>日(木) 天気</p>	<p>日(金) 天気</p>	
<p>他行事</p>	<p>絵本返し</p>		<p>G 研検証保育</p>	<p>園公開日 PM (保護者) 絵本返し</p>		
<p>遊びの様子</p>	<p>子どもまつり準備 ・ 遊戯 ・ 迷路用具運び ・ おみやげ作り ホッピング・縄跳び・フープ 虫探し・色水作り 土作り</p>		<p>・ 迷路づくり ・ 車作り ・ 看板作り ・ おためしまつり</p>	<p>こどもまつり こどもまつりごっこ ・ 年中児が始めるごっこ遊びに合わせるだろう。 年中チューリップ植え手伝い</p>		
<p>絵本</p>	<p>㊤こびとのくつや</p>	<p>まいごのどんぐり</p>	<p>㊤おみせやさん</p>	<p>むしたちのおまつり</p>		
<p>歌</p>	<p>うたえバンバン やまのおんがくか</p>		<p>さくのはな</p>			
<p>反省考察</p>	<p>朝の集まりで子どもまつりが今週木曜日であること確認すると、A児、M児、K児、Y児などが準備のでき具合を話し始めた。今、出ているお店グループとそれに必要だけどまだ間に合っていないものをクラス全員で確かめ、それぞれ分かれて準備を始めた。金曜日までに出ているお店を描き、自分がしてみたいお店の絵の下にマグネットの名札を張らせたことで、「なんでもいい」「わからん」と言っていた男児達の意思が少し固まったようだ。新しく「くるま屋さん」が挙がったので、実現するよう相談した。</p>		<p>看板を作ることやダンスをする時にステージがあったほうが良いことが提案された。看板には、R児、K児や戸外で遊べないM児がとりかかる。くるま屋さんができたことで、遊戯室です予定だった迷路屋さんも園庭で行うことにした。トンネルが壊れてしまったので、どうするか相談をもちかける。宝探し屋さんは、宝物が整ったことで安心したのか、今日は、かかわる子がいなかった。今日も、カプセルを持ってきてくれたN児達を落ち葉拾いに誘って、関わるきっかけを作るにとどまった。</p>	<p>おためしまつりと称して、準備をしながら準備がほしい整っているお店のお客さんになってみることもすすめた。その中でも、自分のしようとすることをはっきりもち、熱心に準備をする子、自分のことだけでなく、周囲のことにも気を配れる子、したいことは口にするが、熱意が表面に出ず、集中が続かない子に分かれている。観察してもらったことで、自分が見えていない子や見取りの違いなどに気付かされた。今日、友達相手に試したことも明日は年中児と未就園児相手なので、また対応の仕方も変わると思う。</p>	<p>当日準備で、看板作り・設置、チケット紐通しなどをせかせることになってしまった。どこまで下準備をして、どこから自分たちの力と思わせるのか難しい。ついリーダーシップをとれるM児、K児、A児、O児、m児らに呼び掛けてしまう。本番が始まるとそれぞれに何かしらの分担をもって自分のしたいお店の位置についていた。ころころゲームの三人もかなり関係改善が見られ、未分担ながらそれぞれが、忙しそうに働いていた。降園時に取り組みの意義と昨年とは少し違った簡単な経過を保護者に説明した。</p>	
<p>欠席</p>	<p>熱… 名 皮膚科… 名</p>		<p>熱… 名 皮膚科… 名</p>	<p>熱… 名 都合… 名</p>		

5 本日の仮説

- 子どもまつりを準備する場において、子ども達のイメージに合った環境を整え、楽しいことやすごいと思ったことを表現している言動を認めたり、本人や周囲の幼児に知らせたりすれば、自信をもち意欲的にみんなが楽しんでくれる遊びを工夫して表現しながら、よさや可能性に気付き、さらに意欲と自信をもつことができるであろう。

6 本日の展開

ねらい 内容及び	○ 互いのイメージや考えを出し合い、友達と一緒に進めていこうという気持ちを持ちながら、子どもまつりの準備をすることを楽しむ。 ・ 友達と相談しながら、子どもまつりのゲームやお店、おみやげの準備をする。	保育にあたって	○ 各店の楽しいところやすごいと思ったことを表現している言動を、認めたり、本人や周囲に知らせたりする。 ○ 自分の思っていることを上手く表現できない幼児に、言い方を知らせたり、代弁したりして思いを伝えられるようにする。 ○ お客や他のグループの希望やアドバイスを伝えたり、実現するための相談を促したりする。
配時	遊びの流れ	□ 本日までの幼児の遊びの様子と教師の願い	* 物的環境の構成 T 教師の援助
9:30	○ 子どもまつりの準備をする。 ・ ころころゲーム屋さん ・ 迷路屋さん ・ 宝探し屋さん ・ ダンス屋さん ・ 床屋さん ・ くるま屋さん ・ チケット屋さん <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲームの場を作る。 ・ おみやげやチケットなどを作る。 ・ お互いに試してみる。 <p>など</p>	<h3>1階 星組保育室</h3> <h4>ころころゲーム屋さん</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホワイトボードに枝や木切れを使って障害物を作り、マツボックリやドングリを転がして遊んでいる。転がすもの大きさや形によって障害物の並べ方や数を変えて楽しんでいる。ゲームとして遊べるように、転がり終わった地点でプレゼントが決まるゴールを作っている。 ・ 何度も試す中で、途中で止まったり、コースを外れたりしたときの対応を考えたり、ゴールごとのおみやげを準備したりして欲しい。 <p>* ホワイトボード、木切れ、木の実、おみやげなど T 教師もお客さんになってゲームを楽しみ、途中で起きたトラブルに対する相談を持ちかけながら、対応を準備できるよう促したり、ゴールしたことを喜んだりする。</p> <h4>ダンス屋さん→洋服屋さん</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・ カラーポリ袋で作った衣装を着け、自分たちの知っている遊戯を曲に合わせて踊ってみせる。 ・ 相談しながら、遊戯の順番を考えてプログラムを作ったり、曲によって好きな衣装に着かえたりしながら遊戯をして欲しい。 ・ 一緒に踊りたいという年中児に衣装を貸したり、作ってやったりして、一緒に楽しんでほしい。 <p>* カラーポリ袋、平テープ、ミラーテープなど T 自分たちが満足している遊戯や衣装を十分認める。 T 飾りの作り方を教え合ったり、手助けしたりして作れるようにモデルを示したり、促したりする。</p> <h4>床屋さん</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平テープをシャワーに見立て、フックに結びつけて、シャンプー台を作っている。また、お客さんが選ぶ髪形スタイルブックつくっている。 ・ 年中児の話をよく聞いて、技術によって、分担したり、交代したりして対応してほしい。 <p>* カラーポリ袋、平テープ、鏡、ブラシ、ゴム、リボンなど T 自分たちの思い描くシャンプー台や鏡台、待合室の雰囲気が実現できるように手助けをする。 T 一人一人が自信をもって対応できるように、思い通りにしてもらったと喜ぶ年中児の声を伝えたり、それぞれの得意な技術を取り上げて認めたりする。</p>	<h4>チケット屋さん</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・ カードにそれぞれのお店の目印を描き、すべてのお店のチケットを毛糸でつなぐことにしている。チケットを使ってしまった幼児の対応や当日来る未就園児への対応も問題になっている。 ・ お店の内容が一目でわかる目印や色分けなどを工夫したり、問題になっていることを相談したりしながら、人数分作りあげてほしい。 <p>* カード、毛糸など T 店の内容が分かり易く描かれていることを認め、枚数を確認したり、全てのチケットがひと綴りになっているかを確認めたりするよう言葉をかける。</p> <h4>宝探し屋さん</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・ 箱の中に集めた落ち葉に宝物を埋め、掘り出して遊んでいる。年中児が掘り出した宝物をそのままプレゼントすることになっている。宝物にする折り紙を教え合い、たくさん作り貯めている。 ・ 探しきれなかったらどうするかか容器がたりなくなるなどの問題が出てきているので、相談して解決してほしい。 <p>* 段ボール箱(2)、木の葉、プラスチック容器など T お客さんになって宝物の探し方や見つけた後の渡し方などを尋ねる。</p>
10:40	○ 片づける。 ○ 排泄や手洗い、うがいをする。		
11:00	○ 集まりをする。 ・ 歌や手遊びをする。 ・ 今日した遊びのことを話す。		<h4>園庭</h4> <h4>迷路屋さん</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・ 巧技台や段ボールなどを使って道やトンネル、落とし穴やじゃんけんコーナーのある迷路を作って遊んでいる。ジャンプ台や、じゃんけんの勝敗で進む道が変わる工夫をしている。 ・ 年中児が楽しめるよう思いやりながら、高さやルールを考えたり、起こると予想するトラブルを出し合ったりして、対応を相談してほしい。 <p>* 巧技台、マルチパネ、トンネル、フープ、マットなど T 自分達で試しながら、年中児がけがをしないような高さや対策を考えたり、怖がったときや道を外れたときの想像をしたりする幼児の発言を取り上げて、相談を促す。</p> <h4>くるま屋さん</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・ マルチパネで作った車にお客さんを乗せて年長児が押してやり、コースを往復する。 ・ 迷路と交錯しないコースを考えたり、順番待ちのお客さんが出ることを予想したりしながら、停留所や待合場所なども工夫してほしい。 <p>* マルチパネ、コーン、いすなど T 迷路と交錯して危険と思われるときは、気付くような言葉をかけ、相談を促す。 T お客さんになって、待つ場所や停まる場所を決める必要に気づかせる。</p>